



# 教員用(表面)

このワークシートは、5年生の社会科「我が国の国土の自然環境と国民生活の関連」の「導入・学習問題をつくる段階」などにおいて、身近な地域の危険性を調べたりする際に活用することを想定しています。

## 【学習目的(例)】

- ・ハザードマップは、役所が、地域の危険性や避難場所などを知らせるために作成した、命を守るための対策の1つであることを理解する
- ・ハザードマップの見方、身近な場所の危険な場所を調べる。

## 【学習の準備】

学習の際は各地域のハザードマップが必要となりますが、各地域のハザードマップは以下の方法を参考にダウンロードいただけます。

### 【ハザードマップポータルサイト(わがまちハザードマップ)の操作方法】

**Step1**  
「わがまちハザードマップ」と検索し、検索結果の「わがまちハザードマップ」をクリック

**Step2**  
静岡県をクリック

**Step3**  
マップを確認したい市町をクリック

**Step4**  
見たいハザードマップを選んでクリック

**Step5**  
マップを確認したい地域を探してクリック

選択した市や町のホームページのハザードマップ掲載ページに遷移します

選択した地域のハザードマップの確認ダウンロードが可能です。

その他防災教育用教材は、静岡河川事務所防災教育ポータルサイト (<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/gensai/torikumi/school/portal/index.html>) に掲載されていますので、ぜひご活用ください。

ワークシート記入例

小学生用ワークシート

ワークシート

## 身近な場所の浸水深や危険性をしらべよう

おうちの人や先生にハザードマップをもらいましょう

- 身近な場所の浸水深をしらべよう

ハザードマップ上の、自分の家やよく訪れる場所に印をつけて、大雨が降るとどのくらい水につかってしまうか(浸水深)を確かめてみましょう。

①自分の家やよく訪れる場所に印をつけましょう

②【印をつけた場所がどのくらい浸水してしまうかを記入しましょう】

【記入例: 印をつけ場所は1階の天井くらいまで浸かる可能性があります。】

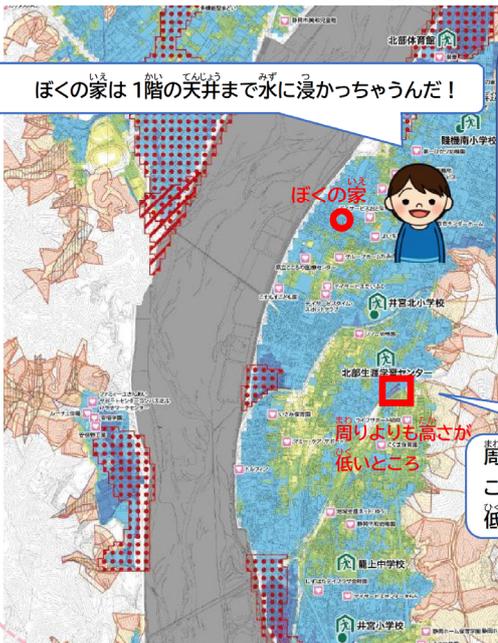
印をつけた場所は「 2階の天井より上 」まで浸かる可能性があります。

印をつけた場所は「 大人の膝あたり 」まで浸かる可能性があります。
- 身近な場所の危険な箇所をしらべよう

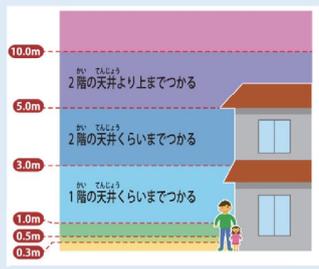
周りよりも高さが低いところは特に浸水時の危険性が高いところです。家や学校のまわりにそのような場所があったら、マップに印をつけて注意しましょう。

【ハザードマップに印をつける例: 赤い印と文字を真似しましょう】

ぼくの家は1階の天井まで水に浸かっちゃうんだ!



地図が塗られている色で、浸水の深さを確認することができます。(浸水深の色は地域によって異なります)



周りよりも高さが低いところは、浸水の危険が高いところです。このようなところがあったら印をつけましょう。低いところが見当たらなければ、無理に印をつける必要はありません。

制作: 静岡地域・志太榛原地域大規模氾濫減災協議会